



©青柳 聡

Sachio Fujioka  
Conductor

Gen Yokosaka  
Cello



本物のオーケストラを  
地域の皆様に安価な料金でお届けする  
「県民音楽のひろば」。  
響きの良さに定評あるホールで  
チェロとオーケストラのコラボレーションを  
お楽しみください。

Gunma Symphony Orchestra Summer Concert  
**群馬交響楽団**  
**サマーコンサート**

指揮■藤岡 幸夫 / チェロ■横坂 源



Program

モーツァルト: 歌劇《フィガロの結婚》序曲  
W. A. Mozart: "Die Hochzeit des Figaro" Overture

ドヴォルザーク: チェロ協奏曲 短調 作品104  
A. Dvořák: Concerto for Cello and Orchestra in B minor op.104

ベートーヴェン: 交響曲第3番 変ホ長調 作品55「英雄」  
L. v. Beethoven: Symphony No.3 in E flat major op.55 "Eroica"

玉村町文化センター

2015.6.28 日 14:00開演 (13:30開場) **にしきのホール**

全指定席 一般 2,500円 高校生以下 1,000円

\*未就学児の入場はご遠慮ください。

主催■第38回県民芸術祭運営委員会 / 群馬県

公益財団法人 群馬県教育文化事業団 / 公益財団法人 玉村町文化振興財団

お問い合わせ・入場券のお求めは…(公財)玉村町文化振興財団 Tel 0270-65-0600

<http://www.tamamura-bunka.or.jp>

チケット発売日●4月5日(日)9:00~(電話予約は13:00~)





藤岡 幸夫 (指揮者) Sachio Fujioka (Conductor)

1962年東京生まれ。幼少よりピアノ、チェロを学ぶ。故・渡邊暁雄の最後の愛弟子。サー・ゲオルグ・ショルティのアシスタントを務める。慶応義塾大学文学部卒業。日本フィル指揮研究員を経て1990年に英国王立ノーザン音楽大学指揮科に入学。在学中は奨学金特待生に選ばれる他、数多くの賞を受賞。1992年マンチェスターにて最も才能ある若手指揮者に贈られる「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を日本人にもかかわらず特例で受賞。同年ルトスワフスキ・フェスティバルにて作曲者の前で「管弦楽のための協奏曲」を指揮、英ガーディアン紙に「計りしれなく将来を約束された指揮者」と絶賛される。

1993年BBCフィルの定期演奏会に出演し「タイムズ」紙などで高く評価され、1994年に同オーケストラの副指揮者に就任。同年、ロンドン夏の風物詩「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー、大成功を収める。以後ロイヤル・フィル、ロイヤル・リヴァプール・フィルをはじめ数多くの海外オーケストラに客演。

スペイン・オペラ公演デビューとなった2006年スペイン国立オヴィエド歌劇場ブリテン「ねじの回転」は、その年当劇場の新演出オペラのベスト・パフォーマンス・オブ・ザ・イヤーに選ばれ、2009年にはR.シュトラウス「ナクソス島のアリアドネ」で再客演、ふたたび大成功を収めた。

マンチェスター室内管弦楽団首席指揮者、日本フィルハーモニー交響楽団指揮者を歴任し、現在関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者。毎年40公演以上を共演し2015年で16年目のシーズンを迎えた関西フィルとの一体感溢れる演奏は聴衆を魅了、高い

評価を得ている。

英シャンドスと契約し、これまでにBBCフィルと8枚のCDをリリース。また関西フィルとはALMRECORDSにシベリウス交響曲全曲録音を進行中。

大晦日のテレビ東京系全国ネット「東急ジルバスター・コンサート」に2回、2012年NHK大河ドラマ「平清盛」の劇中音楽の指揮をはじめ、テレビ、ラジオへの出演など広く活躍する。

2014年10月にスタートしたBS日本の新番組「エンター・ザ・ミュージック」に企画、指揮・司会として関西フィルと共に出演中。

2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。

関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者。公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>



### 横坂 源 (チェロ) Gen Yokosaka (Cello)

桐朋学園女子高等学校(男女共学)、同ソリストディプロマ・コースを経て、シュトゥットガルト国立音楽大学、並びにフライブルク国立音楽大学で研鑽を積む。

2002年、15歳で全日本ビバホール・チェロコンクール最年少優勝受賞をはじめ、2005年に出光音楽賞、2008年に齋藤秀雄メモリアル基金賞、2010年にミュンヘン国際音楽コンクール第2位、2012年にホテルオークラ音楽賞など多数受賞。室内楽部門では、2009年に全ドイツ学生音楽コンクールで第1位を受賞している。その演奏は「力強く豊かで円熟した音色、高い集中力、何よりも情熱的で生き生きとした演奏」(ドイツ、ハレール・タグプロット紙)など各誌で絶賛されている。

1999年、13歳で東京交響楽団とサン＝サーンスのチェロ協奏曲を共演したのを皮切りに、多数の国内外主要オーケストラと共演し好評を博している。また、室内楽奏者としても、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン、東京・春・音楽祭、宮崎国際音楽祭、武生国際音楽祭など多数出演している。

これまでに、鷲尾勝郎、毛利伯郎、ジャン＝ギャン・ケラスの各氏に師事したほか、ダヴィド・ゲリンガス、ジャン・ワンなどのマスタークラスを受講。

ピエール・ブレーズ指揮ルツェルンフェスティヴァル・アカデミーに18歳で参加して以来、現代音楽にも強い関心を示している。明治安田クオリティオブライフ文化財団、ロームミュージックファンデーション海外派遣奨学生。サントリーホールディングス株式会社所有の1710年 Pietro Giacomo Rogeri 制作のチェロを貸与されている。



### 群馬交響楽団 Gunma Symphony Orchestra

1945年、戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して「高崎市民オーケストラ」が創設され、翌年「群馬フィルハーモニーオーケストラ」、1963年に「財団法人群馬交響楽団」、2013年4月に「公益財団法人群馬交響楽団」と改称して現在に至る。

1955年、「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集め、翌年には文部省により群馬県が全国初の「音楽モデル県」に指定された。さらに1961年、市民の全面的な支援を受けて高崎市に群馬音楽センターが建設され、これを拠点としてさらに幅広い活動が展開された。1947年5月から始めた移動音楽教室では、2009年度までに延べ600万人以上の児童・生徒が鑑賞しているのははじめ、県内各地で演奏活動を展開し、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。

1994年には「プラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け、音楽監督高関 健指揮のもと欧州4カ国を巡る海外公演を実現した。翌年には50周年記念委嘱作品「オーケストラのための遠景II」(細川俊夫作曲)を東京・群馬で初演し、高い評価を得た。

2001年に、日本の音楽界を牽引している楽団として、文化庁の「芸術創造特別支援事業(アーツプラン21)」支援団体に指定されている。2003年10月にはNHKテレビ番組「プロジェクトX〜挑戦者たち〜」で楽団の草創期が紹介され、話題となった。また、2004年11月には天皇皇后両陛下、デンマーク国王陛下同王配殿下をお迎えしての移動音楽教室を開催し、2005年4月にはNHK朝の連続テレビ小説「ファイト」の主題曲を担当し高評価を得る。

創立70周年に向け大友直人新音楽監督のもと、定期演奏会、移動音楽教室はもとより幅広い音楽活動を展開している。



- JR各駅(本庄・高崎・前橋・藤岡・伊勢崎)よりお車で25分
- 最寄駅は新町 お車で10分
- 関越自動車道高崎IC、藤岡ICより20分、高崎玉村スマートインターより5分
- 北関東自動車道前橋南ICより10分
- ラッシュ時は混み合いますので余裕を持ってお出かけ下さい。